

蓮如上人の誕生
一五五年の二月二十五日、京都東山大谷の本願寺で、蓮如上人は元気な産声を上げられました。

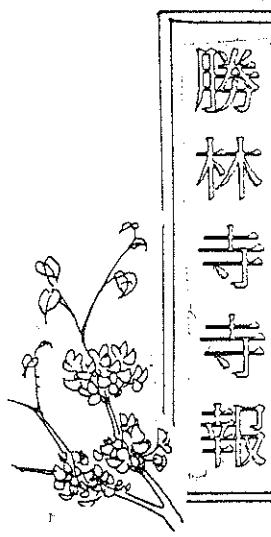
お父様は後に、本願寺第七代のご門主になられる存如さまでありましたが、蓮如上人がお生まれになったときはまだ二〇才で、祖父巧如さまがご門主の時代でありましたから言わば、まだ部屋住の身であります。

一方、蓮如上人のお母様は、お爺様巧如さまに使われていた召使で、西の国人というだけで、名前も年も分かっていません。

そんな身分の方でありますから、当然父存如さまがやがて正式な奥様をお迎えになるときには、自分から身を引かねばならぬ立場のかたであつたのです。当時、家柄・身分ということが支配していた世の中に、蓮如さまは悲しい星の下に生まれ合わされたわけであります。

蓮永二十二年。西暦で言いますと一四五五年の二月二十五日、京都東山大谷の本願寺で、蓮如上人は元気な産声を上げられました。

蓮如上人の誕生



この幼いころの幸せが、実は蓮如さまには、むしろ生涯の悲しいつらい思い出となるのです。

(蓮如さまについて当分連載します)

花にあかね 敬きはいつも せしかど
山里の 春の夕暮れ 来てみれば
入り相の鐘に 花ぞ散りけり
(在原・業平)
(能因法師)

新古今 (春歌下)
一首。

「」としも老若あいよつて、おみのりの鐘のなか、「今日の今宵に似るとき」のない、一期一会(いちいぢれ)、俱会一処(くいじゆ)のときをもちたいと念じます。
多数(しよう)ご参加くださいますようご案内致します。

吉崎御坊へ

六月研修(納骨参拝)旅行は
蓮如上人ゆかりの地

葬儀
坂本ひさ様
二月二十七日 出石川原町

春季研修会

ご案内

平成7年4月22日(土)

【第一部】
寺出発 1:30
ゲーム開始 2:15
終了 3:45

会費 2ゲーム貸靴とも
¥1000円

会場 協和ボール

【第二部】
寺受付 4:30
表彰式 4:40
おつとめ
ご法話 4:50
終了 5:30

【第三部】
観桜会受付
おつとめ
観桜懇親会
会費 男女
1500円
1300円

☆依頼表
ご面倒ですが【第一部】および【第三部】の参加者のお名前を15日(土)までに寺へお知らせ下さい。(会費は当日受付に納入のこと)

四月のことよみ



一日	藤田忠雄氏宅法事
二日	光願寺永代経
三日	平野美好氏宅法事
四日	永井孝一郎氏宅法事
五日	組巡教打ち合わせ会(西宗寺)
六日	谷垣久司氏宅法事
七日	中嶋秀雄氏宅法事
八日	岸下正美氏宅法事
九日	坂本ひさ様忌明法事
十日	玉日会定例法座
十一日	山田正直氏宅法事
十二日	戦争終結50周年全戦没者追悼
十三日	横山洋海氏宅法事
十四日	みのりを聞く会
十五日	名古屋宗田寺永代経
十六日	春季研修会出欠締切
十七日	永井勝正氏宅法事
十八日	十六夜会定例法座
十九日	仏社仏婦役員会
二十日	春季研修(観桜)
二十一日	春季研修会
二十二日	みのりを聞く会
二十三日	斎藤義弘氏宅法事
二十四日	横山洋海氏宅法事
二十五日	みのりを聞く会
二十六日	名古屋宗田寺永代経
二十七日	春季研修会
二十八日	春季研修会
二十九日	名古屋宗田寺永代経
三十日	春季研修会

孫に習字を
見ていてなんとも不安です。
テレビの漫画番組に夢中になつてばかり。
それなのに両親とも平気。
「なんとかなりますわ。」
なんば五人目だってちょっと気楽すぎ
ます。

イライラ一人気をもむなかで、ひょっこり思い出したことがありました。
自分が小学校にあがつたそのころのこととであります。

あのころ、うちにはヒイバアチャンと言ふ人がいて、その人、自分は字を読むことも書くこともできんくせに、いっぱい孫のことが案じられたのでしよう。
わたしをそつと自分の部屋へ連れて行つて「字を書け」と習わしました。

ヒイバアチャンの書ける字はそれしかなかったから、新聞紙に筆で片仮名でナムアミダブツを書かすのです。何度も何度も。

学校に行つてから、一度も習わなかつたナムアミダブツと云ふことを、わたしはヒイバアチャンからだけ教えてもらいました。

そのヒイバアチャンはとつこの昔に亡くなりましたが、おかげた七〇年たつた今も、学校でもどこでも教えてくれなかつた。

今度、内孫の一番末の男の子が、幼稚園を終えて小学校に入学します。
が書ける程度。
それなのに両親とも平気。
「なんとかなりますわ。」
なんば五人目だつてちょっと気楽すぎます。

見ていてなんとも不安です。
テレビの漫画番組に夢中になつてばかり。
それなのに両親とも平気。
「なんとかなりますわ。」
なんば五人目だつてちょっと気楽すぎます。

見ていてなんとも不安です。
テレビの漫画番組に夢中になつてばかり。
それなのに両親とも平気。
「なんとかなりますわ。」
なんば五人目だつてちょっと気楽すぎます。



た大切なものを、今でもわたしはこのいのちの底にヒイバアチャンから伝え習つているような気がしております。

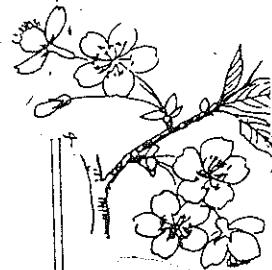
それでわたしあ、そつと孫をよびよせて、あのナムアミダブツを、ひそかに習わせややろうと、いま、たくさんおるところでございます。(七五才老婆)



小学一年生入学

園田 雄輝 和木子さん(坪口)
中嶋 誠くん(坪口)
横山 雅人くん(横見)
西池 深音くん(出石)
山田 平野 和広くん(正法寺)
浜田 裕一郎くん(倉敷)
愛さん(松ヶ枝)
和輝くん(小田)

ぶつきょうどくほん『はと』と、おじゆずと贈つてお祝い致しました。



老いぬれば

さらぬ別れの
ありといへば
いよいよ見まく
ほしき君かな

伊登
内親王

こんな歌がただ一首だけしたためられた速達を、寒くなつて来る歌ですが、この本が出来たのは九世紀末から十世紀半ばの間らしいのです。九〇五年に出来た『古今和歌集』雜上にも同じ歌のやりとりが載っています。
年をとつてしましましたので、死別は私にも避けられないとひしひし思われます。
思いにまかせずお会い出来ないあなたに、狂ほしいまでにお会いしてもらいます。



正林菊子
(長崎教区課早組安勝寺衆達)

その味わい

日本最古の歌物語といわれる『伊勢物語』八十四段に出で来る歌ですが、この本が出来たのは九世紀末から十世紀半ばの間らしいのです。九〇五年に出来た『古今和歌集』雜上にも同じ歌のやりとりが載っています。
年をとつてしましましたので、死別は私にも避けられないとひしひし思われます。
思いにまかせずお会い出来ないあなたに、狂ほしいまでにお会いしてもらいます。

世の中に
大人の子のため
千世もといのる

業平朝臣

胸にキューと痛みがはしりました。
母はいつになつても私を最終的にはかばってくれる人です。
「母は年をとらない」と私の母にだけ許された例外だと決められた年をとらぬか。強くて頼もしくて、急な雨宿りも許されるふところの深い洞ら穴みたいに思つていました。在ると思うだけで安心なのです。

子を思う親の心は聞と言いますけれども、子も又親の存在を有難いとは特別には思わず育ち、気がつくと実は、親に頼られる年令になつていたという事も子の心の間でしおうか。在原業平も人の子です。都で官職についていましたが、まだまだ低い官位で、毎日の宮仕えに追われて、なかなか母のところへ顔を見せに行くことが出来ないのです。

業平は泣かずに居れませんでした。母に死なれてたまるものか。今日は何をおいても母を見舞おう。切なさとすまなさと、死を自らのものとした真剣さで、業平の足は闇を駆けたに違ひありません。

『めぐみ』より転載。

『めぐみ』は浄土真宗の仏教婦人会の月刊冊子です。仏教婦人会の連盟、各地の寺の仏教活動が紹介されていますし、総合(大谷範子)さまを始め各方面で活躍の先生がたのご法話が掲載されています。一部300円。勝林寺仏教事務局にお申込みください。